

I. 平成 29 年度事業計画

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

本年度の活動については、設立の趣旨である、「幅広い視点からの知見にもとづく多角的な検討に基づいた取り組み」を行うことを基点とし、引き続き、海洋産業界と鉱業界ならびに周辺業界の間の交流を一層深める。

また、次期海洋基本計画の策定を来年度に控えた重要な時期であることを踏まえ、内閣府総合海洋政策推進事務局及び参与会議・PT 等の動向を考慮しつつ、海底鉱物資源の利活用の促進に向けて、一層有益な検討、交流の場を提供するよう努める。

さらに、今年度より、個人会員について、必要な会則及び会員規程の改定を行って個人会員の会費を設定し、徴収させていただくこととする。

加えて、翌々年度は当ラウンドテーブル設立 10 周年を迎えることから、記念事業の準備に着手するほか、新規事業を含めて一層の事業活動の充実を図る。

1. 会議の開催

平成 29 年度内に、総会を 1 回、理事会を 1 回以上、幹事会を必要に応じた回数、開催する。

2. 全体会合等の開催

平成 29 年度内に数回の全体会合を開催する。その他、適宜、特別講演会等を開催し、海底鉱物資源開発を牽引する国内外の団体等について学び、交流する機会を設ける。

(特別講演会の例)

- ・ ドイツ・Bauer 社 Leonhard Weixler 氏 (※) による特別講演会 (7 月 19 日)

※Bauer 社は大型掘削機等、基礎工事用建設機械の世界的トップメーカーであり、同社 executive producer の Weixler 氏はドイツで当ラウンドテーブルに近い役割を果たしている深海底資源開発に関する産業団体の Deep Sea Mining Alliance (DSMA) の会長を務めている。

3. 見学会等の実施

平成 29 年度に、海底鉱物資源の開発の参考になると考えられる、船舶、研究施設・設備、鉱山関係等を対象に、例年同様、数回の見学会を実施する。

4. 情報受発信事業の実施

会員限定の情報・資料の提供・共有、さらに会員以外の外部機関に関する関連情報の収集および情報発信等の充実・強化に取り組む。

- ・ 活動内容の記録や調査研究成果等の報告書、有用資料等の発行・配布
- ・ 会員保有技術の情報共有・提供
- ・ ホームページ/会員専用ページの更新・充実
- ・ RT メールニュースの配信 (年度内 12 回程度)
- ・ その他、関連する情報受発信活動

5. 海洋資源の開発および関連産業の振興に関する調査・研究等 (委託等)

多角的な立場・視点から情報及び意見交換、さらに必要な調査・研究活動を精力的に行い、一層の充実を図る。

- ・ 海外における海底鉱物資源開発に関連する法整備、各種技術動向、環境保全対策等の把握
- ・ 海外における海底鉱物資源関連の学会、国際会議等での情報収集
- ・ 国際機関等による有用資料やその他資料の翻訳・編集・出版・配布
- ・ その他、会員の意向に基づく有用情報のとりまとめ

6. 10周年記念事業の着手

次々年度に海洋資源・産業ラウンドテーブル設立10周年を迎えるにあたり、記念事業の準備に着手する。そのため、毎年実施している会員アンケートにおいて、記念事業に関する提案、要望等を収集するとともに、年度内に10周年記念事業企画チームを編成する。

(記念事業の例)

- ・ 10周年記念式典の企画・準備(平成31年度理事・総会・全体会合後の懇親会を記念パーティとして開催など)
- ・ 「海洋資源・産業ラウンドテーブル10年史」の企画・編集(上記式典の内容等も収録して、会員に配布)

7. その他、会の目的を達成するために必要な事業の実施

今年度より、個人会員について、必要な会則及び会員規程の改定を行って個人会員の会費を設定し、徴収させていただくこととする。

その他本会の趣旨に沿って、その他の事業活動に取り組む。

- ・ 個人会員の会費有料化の実施
- ・ 事業活動に関する会員の意向調査(アンケート)の実施(10周年記念事業、新規事業展開含む)
- ・ 事業活動の拡大に伴う調査研究委託事業等の拡大

以 上